

ほっとメール

神奈川みなみ医療生協

健康まちづくり部



誰もが健康で居心地よく くらせるまちづくり

2026 年 9 月 7 日

熱中症対策に関する緊急要請を行いました②

(エアコン購入助成について)

懇談では、医療現場で接する患者さんや利用者さんの熱中症で受診した経緯や在宅での様子を看護師やケアマネから自治体関係者に伝えました。「まだエアコンがない家もある」「エアコンが故障していても購入するお金がなく我慢している」「エアコンの温度を電気代がかからないようにと高めに設定している」などの実態を克明に伝え、他の自治体が実施しているように熱中症対策として、エアコンの購入助成制度の実現を求めましたが、どの自治体からも制度創設に向けた前向きな返事を得ることは出来ませんでした。

(体育館の冷房設備について)

横須賀市は、2026 年度から 2029 年度までにすべての公立学校の体育館に冷房設備の整備計画を立てていることがわかりました。部活動がある中学校を優先していく考えです。2026 年度はすでに工事が進められ中学校 20 校に整備される予定です。2027 年度は中学校 3 校、小学校 17 校、2028 年度は小学校 20 校、2029 年度は小学校 7 校、聾学校、総合高校に整備予定です。整備予算は約 41 億円。国の補助金制度は使わず還付式の融資制度を活用するようです。特徴的なのは停電時でも稼働できるように電気式と L P ガス式を併用することです。

葉山町は、小学校 4 校、中学校 2 校ですが、いずれも体育館に冷房設備はありません。しかし、中学校 2 校に整備する計画を立てています。今年度は設計段階で 2027 年度に整備する計画です。予算規模は 1 億 5 千万円程度。国の補助金制度を活用するようです。小学校については、必要性は感じているとしながらも整備計画は未定です。

逗子市は、小学校 5 校、中学校 3 校ですが、いずれも体育館に冷房設備はありません。市長には事業査定で国の補助金を活用するように申請していく予定。整備費用として 1 校 5 千万円では難しいと思っているようです。逗子市内の小・中学校は民家が近いことや敷地が狭いことなどから横須賀市のように電気と L P ガスの併用は難しいようです。部活動がある中学校を優先するとしながらも、具体的な整備計画は示されませんでした。

三浦市は、小学校 7 校、中学校 3 校ですが、いずれも体育館に冷房設備はありません。それどころか、教室にも冷房設備がないところがあるということでした。まずは教室の冷房設備の整備を急ぎたいという回答で、具体的な整備計画は示されませんでした。



衣笠診療所 関看護師長から横須賀市へ



齋藤総務部長より葉山町に要請